

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイヤモンド厚木森の里Ⅱ新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	神奈川県厚木市森の里五丁目18番	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	701人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、物販店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2017年3月21日
敷地面積	8,415 m ²	作成者	株式会社グローリー
建築面積	3,053 m ²	確認日	2017年3月21日
延床面積	14,051 m ²	確認者	株式会社グローリー



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 第1種中高層住居専用地域の傾斜地に建つ153戸のサービス付共同住宅として、建築物の環境品質を高めると同時に、周辺地域への環境負荷を低くするよう計画をしている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 ①断熱等性能等級4を確保している。 ②カーテンと庇を組み合わせて昼光を制御できる。 ③ほぼ全体的にF☆☆☆☆以上を使用している。 ④換気可能な開口部面積が居室床面積の1/8以上を確保している。	Q2 サービス性能 ①共用部分のコンセプトに合わせた内装と照明の統一をCGで検討している。 ②内装ビニルクロス等耐久年数=20年を使用している。 ③主要用途3種のうち2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。 ④系統を区分化。井戸水(温泉)を利用。受水槽に非常時の蛇口を設置。 ⑤情報配線はPF管を使用して壁内及び天井裏を配線している。	Q3 室外環境 (敷地内) ①外構緑化指数=45.08% ②空地率=62.71% ③緑被率、水被率、中高木の水平投影面積率=32.88%
LR1 エネルギー ①断熱等性能等級4を確保している。 ②非住宅BEI=0.75 ③住宅専有部の一次エネルギー消費率=0.82 ④住宅共用部の一次エネルギー消費率=0.86	LR2 資源・マテリアル ①自動水栓のほか、擬音装置を設置している。 ②LGS+ボード下地など、解体時に分別しやすい工法を採用している。 ③温泉水を生活用水に使用している。	LR3 敷地外環境 ①LCCO ₂ 排出率=82% ②光害対策ガイドラインの一部を満たし、広告物照明には過半を満たしている。 ③隣棟間隔指標RW=1.11、地表面対策面積率=46.69%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される